

番号	ページ番号	質問項目	質問事項	質問内容	回答
1	仕-p.1	仕様書3ア・イ	研修内容	仕様書業務内容ア・イに「若手社員向け」「企業向け」の研修がそれぞれ設けられておりますが、さらに両者の間に梯子をかけ相互理解を促進するアプローチを自由提案として盛り込むことは、本事業の趣旨に合致するとお考えでしょうか。	<p>具体の提案内容に関する判断につきましては、プロポーザル審査委員会において、評価基準に基づき評価いたしますので、事務局では回答いたしかねます。</p> <p>お尋ねのアプローチにつきましては、事業の趣旨・目的を理解し、工夫や配慮のある具体的な提案で目標達成の実現性があるかが評価基準となっております。</p>
2	仕-p.1	仕様書3ウ	フォローアップ	仕様書業務内容ウのフォローアップについて、LINEのオープンチャット等、市で既に運用されているプラットフォームの活用は想定可能でしょうか。	<p>フォローアップにおいて、函館市公式LINEなど既存のプラットフォームを活用することについて、函館市職員以外が各プラットフォームを操作することができないため活用できません。</p>
3	仕-p.1	仕様書3ア・イ	研修内容	昨今のデジタル社会の加速度的な進展をふまえ、デジタル社会における若年労働者の立ち位置や未来予測等を研修内容に含めることは、本事業の目的に沿うものとしてご判断いただけるものでしょうか。	<p>具体の提案内容に関する判断につきましては、プロポーザル審査委員会において、評価基準に基づき評価いたしますので、事務局では回答いたしかねます。</p> <p>お尋ねの研修内容につきましては、開催内容に具体性があり、適切な講師が選定され、参加意欲を喚起できる内容となっているかが評価基準となっております。</p>
4	仕-p.1	仕様書3ウ	評価指標	本事業の評価指標として、定量的に特に重要視されている指標をお聞かせください（例：参加人数、満足度、参加者の行動変容度等）。またその指標について経年推移として参考になるものがあればご教示いただくことは可能でしょうか。	<p>本事業は、若年労働者の早期離職率が高いことを課題とし、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手社員に対する職場定着への意識付け</li> <li>2. 企業側の雇用管理面の配慮</li> </ol> <p>の両面のアプローチにより課題解決を目指すものです。</p> <p>この際、1および2に対し、効果的な方策は多数あり、提案者の自由な発想による効果的な提案を受けるため、公募型プロポーザルを実施しているものです。</p> <p>そのため、本事業実施によるアウトプット指標を示すことはできませんが、最終的なアウトカム指標としては、新規卒者の採用後3年以内の離職率（R5調査時22.8%）の低下となります。</p>
5	仕-p.1	仕様書3	事業対象	対象となる若手社員は入社3年以内となっておりますが、企業から「入社3年以上の社員の参加の可・不可」についての問い合わせがあった場合、市との協議によって参加を認めることは可能でしょうか。	<p>若手社員向けの研修については、原則入社3年以内の職員が対象です。</p> <p>ただし、入社4年目以降の社員に研修を受けさせたいなど、企業から相談があった場合に、研修の応募状況を踏まえつつ、該当の社員の受講が本事業の趣旨に合うものであるか、市との協議となります。</p>